※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0301

令和５年度　数学科

教科	数　学	科目	数　学　Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生の数学Ⅰを復習しながら、2次関数のグラフと２次方程式、直角三角形の性質について学習します。また、社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察する技能を身につけます。

・わからないことはすぐに授業担当者に質問をしても構いません。わからないことをそのままにしておくことはやめましょう。
・授業に出席することが基本です。欠席が多いと授業内容を理解することが難しくなります。
・定期テストは授業内容を中心に出題されます。
・教科書とプリントを使用します。プリントをしっかり提出してください
・考察プリント・振り返りシートにもしっかりと取り組んでください。

２　学習の到達目標

数と式、２次関数、図形と計量についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。
さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、2次関数、三角比における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式の計算、2 次関数、三角比における問題解決の結果や過程を考察し、判断することができる。	数と式、2 次関数、三角比の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。また、振り返りを行うことで、考察をさらに深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式	1 年次学習した数と式の復習	a:1 年生の数と式の復習 b:数と式の問題解決の過程を考察し、判断をする。 c:積極的に、問題に取り組みこれからに生かそうとしている	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返りシート
	2 次関数のグラフ	関数 1 次関数のグラフ $y=ax^2$ のグラフ $y=ax^2+q$ のグラフ $y=a(x-p)^2$ のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ $y=ax^2+bx+c$ のグラフ) 2 次関数の最大･最小 2 次方程式	a:平方完成ができ、頂点を求め、いろいろな 2 次関数のグラフが書けるようになる。 b:2 次関数を数学的に思考し判断している。 c:2 次関数に意欲的に取り組み、2 次関数の持つ意味を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返りシート
後期	図形と計量	直角三角形 三角比 三角比の値 三角比の利用 三角比の相互関係 三角比の応用	a:三角比の値を理解する。 三角比の鈍角の値を理解する。 三角形の面積公式を理解する。 b:三角比の値を利用して、直接測れない長さも思考し、求めるようになる。 中学校までに習った三角形の面積の公式と三角比を利用した三角形の面積の公式を利用して様々な三角形の面積を判断して求めていく。またいろいろな図形の面積も求めていく。 c:三角比の相互関係、正弦定理、余弦定理はかなり難しくなるが、意欲的取り組みながら学んでいく。	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度